

北京から来日、少女と周囲の交流温かく

懸命な姿に感動

金曜エンタテイメントこどもの日スペシャル フジ 来月5日午後9時



八王子市立第七小学校の中村先生（左）は、2年間小さな中国留学生、張素ちゃんを温かく見守った

小さな留学生

極めて異例な番組である。素人が撮り続けたドキュメンタリーがプライムタイムに放送されるのだ。しかも、制作したのは中国人女性。内容は、北京からやってきた小学生の女の子の日本滞在記録。これが泣ける！日中友好などのお題目抜きで、一人の子供が異国の地で懸命に生きていくこととする姿に、思わず応援している自分に気づき、見終わったとき、この中国人少女から逆に生きる力を分けてもらったように感じる。こどもの日の最良のプレゼントになるだろう。

「4年前にどうしても伝はあり得ないようなチャンスえたいという気持ちで始め スをいただいて、どれくらいかが、ふじう、民放で い感動している言葉では

「4年前にどうしても伝はあり得ないようなチャンスえたいという気持ちで始め スをいただいて、どれくらいかが、ふじう、民放で い感動している言葉では

女優として北京で活躍した後、1989年に22歳で来日、東京学芸大学に留学し大学院を修了、95年から大倉商事に入社、OLとして働いていた。この年の暮れにフジテレビの横山隆晴プロデューサー（現在は国

際局副部長）に直訴して、「あいうえおも知らずに日本に来て、自分の夢を実現しようと頑張っている中国人たちの苦しみ、悩み、希望を記録に残し、中国本土の人たちに伝えたい」と方

中国人の元留学生が制作

「あいうえおも知らずに日本に来て、自分の夢を実現しようと頑張っている中国人たちの苦しみ、悩み、希望を記録に残し、中国本土の人たちに伝えたい」と方

で放送されたところ、大きな反響を巻き起こし、国内20局や香港のテレビ局でも放送された。今回フジテレビで放送されるのは、10本の中でも感動的だった「小さな留学生」編。96年に父親の住む東京に母親とともに北京から来日、まったく日本語がわか



「小さな留学生」を制作した張麗玲さん

らないうまま、翌日から東京都八王子市立第七小学校の3年生のクラスに入った張素ちゃん（当時9歳）の2年近い日々が描かれている作品だ。少女の成長過程と周囲の日本人との交流の温かみが伝わってくる。これに制作者の張さんを追ったフジテレビ制作のドキュメンタリーも加えて放送する。石原慎太郎都知事も必見か。【網谷隆司郎】

2000年(平成12年) 4月21日 金曜日



新毎日

夕刊

発行所：東京都千代田区一ツ橋1-1-1 〒100-8051 電話(03)3212-0321
郵便振替口座 00180-3-2800
毎日新聞東京本社 ©毎日新聞社 2000